



川中だより

令和7年9月29日（月）発行

新発田市立川東中学校

学校だより 第6号

TEL (25)2011 FAX (25)2022

<https://kawahigashi-j.shibata.ed.jp/>

「世界に目を向け、共に生きる力を育もう」

～多様性と共生～

校長 若月 隆雄

2学期始業式の時に「世界」と「平和」をキーワードにお話をしました。

今、私たちが生きる社会は、これまでになく多様な文化や価値観が交わる時代となりました。SNSやニュースを通じて世界中の出来事が瞬時に届き、外国の方々と直接関わる機会も増えています。そんな時代だからこそ、異なる言葉や考え方、習慣に出会ったときに、「違うって面白い」「もっと知りたい」と感じる心、その感性こそが、これからの社会を生きていくうえで大切な力だと考えています。

世界には今も戦争や紛争が続く地域がありますが、「平和をつくる力」は、決して特別な人だけが持っているわけではありません。

たとえば――

- ・ いじめを見て見ぬふりをせず、勇気を出して声をかける
- ・ 誰かの意見を否定せず、まずは受け止めてみる
- ・ 困っている友達に「どうしたの？」と手を差し伸べる

これらの行動はすべて、小さな「平和づくり」の一步です。平和は、決して遠くの世界だけのものではなく、日々の暮らしや学校の中から始まるもの。教室で交わされる一言が、やがて世界を変える一步になるかもしれません。

今の中学生にとって、「違いを受け入れ、対話し、共に生きる力」は、未来を生き抜くための大切な土台です。私たち教職員も、学校全体で多様性と平和の尊さを伝え続けてまいります。保護者の皆様におかれましても、今後とも温かいご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願いいたします。



去る9月20日（土）、天候が心配されましたが、無事に体育祭を実施することができました。ご来場いただいた保護者、地域の皆様、そしてテント設営や後片付けなどにご協力いただいたボランティアの方々に、心より感謝申し上げます。

「GO GO GO ～魅せましょう！71人の底力～」というスローガンのもと、生徒たちは笑顔を見せながらも、真剣なまなざしで走り、全力で競技に取り組む姿を見せてくれました。

特に、閉会式での団長の言葉や解団式での各リーダーからの言葉には胸を打たれました。

「クラスや全校をまとめることの大変さ」「仲間と力を合わせて成し遂げた達成感」「3年生への感謝の気持ち」「この体育祭が成功したことの誇らしさ」・・・その言葉の一つひとつから、彼らの成長と、仲間と築いた信頼の深さを感じることができました。リーダーを中心に、支える生徒たちが一丸となって創り上げた体育祭。生徒たちのまぶしい姿に、私たち教職員も多くの感動をもらいました。生徒の成長の場を共に見守ってくださった保護者の皆様、地域の皆様に、改めて心より御礼申し上げます。

そして今、生徒たちは次なる大きな行事「川中音楽祭」（10月24日（金）開催）に向けて動き始めています。音楽祭の実施にあたり、昨年度から「ピアノ伴奏者不足」という課題があり、今年度も音楽科教員の勤務日が限られているため、新潟大学の学生にご協力をお願いし、練習段階から支援をいただきます。生徒たちは日々の限られた時間の中で、クラス全体で心をつちにしながら、歌声を重ねます。今年も、きっと胸に残る音楽祭となることでしょう。また、川東中学校同窓会のご協力により、当日は第2部として小杉真二氏によるピアノミニコンサートも予定しております。プロの音楽に触れられる貴重な機会として、生徒たちにとっても大きな学びになることと思います。

体育祭と同様、音楽祭にもぜひ足をお運びいただき、子どもたちの頑張る姿を見守っていただけたら幸いです。

